

報道関係者各位

発行 No. 74024

2026年2月27日

株式会社東陽テクニカ

## 「量子センサーの眼」となる高感度イメージングカメラの国内販売開始

### ダイヤモンド量子センサーが発する微弱光の検出に対応

### 量子コンピューター・人材育成に続き、量子ソリューションビジネスを拡充

株式会社東陽テクニカ(本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員：高野 俊也<sup>こうの としや</sup>、以下 東陽テクニカ)は、2026年2月、英国で高感度イメージングカメラを製造・販売する Raptor Photonics Limited(以下 Raptor 社)と販売代理店契約を締結し、量子センシングの研究・装置開発に利用できる高感度イメージングカメラの販売を開始いたします。本カメラの販売を通じて、量子センシング分野へも新たに参入することで、量子ソリューションの製品ラインアップを拡充し、より幅広い先端技術の研究・開発ニーズに応えてまいります。



#### 【概要】

Raptor 社が製造するイメージングカメラは超高感度、かつ低ノイズという特長を備え、微小な光の変化を正確に検出できます。さらに、X 線から、紫外線、近赤外線領域まで幅広い光に対応できます。製品ラインアップとして、撮像方式の異なる「CCD(電荷結合素子)」「EMCCD(電子増倍型 CCD)」「CMOS(相補型金属酸化膜半導体)」「SWIR(短波長赤外)」カメラを展開しており、いずれも小型で用途に応じた細かなカスタマイズが可能です。

東陽テクニカは、これらの特長を活かし、本製品を量子センシングビジネスの第一弾として販売を開始します。まずは量子センシング用途向けに OEM 展開し、お客様の装置仕様に合わせた設計最適化や実装支援を通じて、装置性能の向上を支えてまいります。

さらに今後は、Raptor 社製イメージングカメラの高感度性能と広帯域対応力を強みに、防衛産業や半導体産業向けの事業領域の拡大を目指します。



カメラのカスタマイズイメージ

## 【 量子センシング分野における高感度イメージングカメラの活用について 】

量子センシングは、量子力学の性質を利用して磁場、重力、時間、電場、温度、圧力など、微小な物理量を高精度に計測する技術です。その計測精度の高さから、EV バッテリー、生体計測、半導体、防衛など、幅広い分野での活用が進んでおり、量子コンピューターの性能向上にもつながると期待されています。

(一例) 量子センシング技術の活用イメージ

- ・電池・パワー半導体の電流分布の把握
- ・生体・医療での細胞活動の動的観察
- ・半導体故障解析などの非接触電流イメージング
- ・海底埋蔵物の資源探査

量子センシングに用いられる代表的な量子センサー「ダイヤモンド量子センサー」は、ダイヤモンド中の窒素(N)と空孔(V)の間の欠陥「ダイヤモンド NV センター」を活用します。このダイヤモンド NV センターにマイクロ波、レーザーを照射したときに生じる微弱磁気信号の変化を光として読み取るのに、高感度イメージングカメラが不可欠です。

東陽テクニカは、Raptor 社製品の取扱いを通じて、量子センシングの分野に進出するとともに、量子ソリューションビジネスを拡充することで、国内の量子技術の発展をさらに幅広く支援してまいります。今後も世界のパートナーと連携し、量子コンピューターや量子センシングのユースケースの創出、新たなビジネスモデルの開発、人材育成を推進し、量子技術の社会実装を推進していきます。

## 【 製品概要 】

- ・製品名：高感度イメージングカメラ「CCD」「EMCCD」「CMOS」「SWIR」シリーズ
- ・販売開始時期：2026年2月
- ・販売価格：要見積り
- ・製品ページ：[https://www.toyo.co.jp/quantum/maker/product\\_list/id=45882](https://www.toyo.co.jp/quantum/maker/product_list/id=45882)

## 【 東陽テクニカの量子ソリューション事業について 】

東陽テクニカは、これまで幅広い先端技術分野に計測ソリューションを提供してきた実績を活かし、2025年7月に量子コンピューターをグローバルに展開する IQM Quantum Computers(本社：フィンランド・エスポー)と量子コンピューターの国内販売代理店契約を締結し、量子ソリューション事業に参入しました。量子コンピューターは、材料開発、自動運転開発、防衛、創薬、環境工学などにおいて、従来のコンピューターでは難しい複雑かつ膨大な計算を実行できる次世代技術として注目されています。また、2025年12月からは、一般社団法人日本量子コンピューティング協会(本部：東京都中央区)が実施する「量子ジェネラリスト講座」検定について、学生と教員の受験費用を全額負担する制度を開始し、量子人材の育成にも取り組むことで、量子技術の社会実装を推進しています。

## <Raptor 社について>

Raptor Photonics Limited は、2006年に英国の北アイルランドで設立された、高感度イメージングカメラの開発メーカーです。低照度な環境でも高精度な画像を取得できる点が特長で、科学、監視、航空宇宙をはじめとする多様な分野に向けて製品を提供しています。OEM 向けのカスタマイズにも対応し、世界の産業界、研究機関、政府機関にソリューションを展開しています。

Raptor Photonics Limited Web サイト：<https://www.raptorphotonics.com/>

## <株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは、最先端の“はかる”技術のリーディングカンパニーとして、技術革新を推進しています。その事業分野は、脱炭素／エネルギー、先進モビリティ、情報通信、EMC、ソフトウェア開発、防衛、情報セキュリティ、ライフサイエンス、量子ソリューションなど多岐にわたり、グリーンエネルギーや自動運転の開発などトレンド分野への最新計測ソリューションの提供や、独自の計測技術を生かした自社製品開発にも注力しています。新規事業投資やM&Aによる成長戦略のもと国内外事業を拡大し、安全で環境にやさしい社会づくりと産業界の発展に貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト：<https://www.toyo.co.jp/>

## ★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

### ニュースリリースに関するお問い合わせ：

株式会社東陽テクニカ 経営企画部 広報・マーケティンググループ

TEL：03-3279-0771(代表) E-mail：[marketing\\_pr@toyo.co.jp](mailto:marketing_pr@toyo.co.jp)

### ソリューションに関するお問い合わせ：

株式会社東陽テクニカ 量子コンピューティング・カンパニー 担当：谷治やじ

E-mail：[quantum@toyo.co.jp](mailto:quantum@toyo.co.jp)

製品ページ：[https://www.toyo.co.jp/quantum/maker/product\\_list/id=45882](https://www.toyo.co.jp/quantum/maker/product_list/id=45882)

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。